

2023 年度現代経営学演習

担当 南 知恵子
森村 文一

1. 演習の目的

現代経営学演習ではゼミナール方式で修士論文指導をします。本学の MBA では修士論文合格が修了要件となっています。これは修士論文作成を通じて、アカデミックなリサーチのプロセスを学ぶことで、経営事象に対して問いを自ら立て、答えを得ること、普遍的な理解と深い洞察を得ることで実務に役立つ提言ができるようになることを目指してもらうためです。

2023 年度は本演習では、とくにマーケティングを中心とする経営学・商学分野の知識を深めつつ、研究手法について具体的に学ぶこと、リサーチ・クエスチョンが立てられるようになること、調査設計ができるようになることを目標とします。

2. スケジュールと概要

第1回目 9月16日

1 限、2 限 問題意識の共有とアカデミックリテラシーの習得

【事前課題】 各自自己紹介と修士論文テーマ（仮案）についてパワーポイントファイルのスライド2、3枚にまとめてきてください。各自 10 分程度で発表していただきます。論文等、文献の探し方について説明します。

3～5 限 MBA ポスターセッションへの参加

修士論文研究のポスター発表から、研究の成果を通じてリサーチ・クエスチョンの立て方、研究アプローチ、成果からの示唆について学びます。

第2回目 10月7日

【事前課題】 各自自分の修論テーマの関心に近い論文を1、2編見つけ出し、要約をパワーポイントスライド2、3枚にまとめてきてください。ただし書籍や書籍所収論文ではなく、学術誌掲載の査読付き論文から選ぶこととします。（1回目に具体的に指示します）

1 限 文献レビューに関する講義

2 限 ケースを中心とする定性的調査手法に関する講義

3 限～5 限 問題意識に近い論文についての要約の各自発表

第3回目 12月23日

1 限～5 限 研究の進捗発表

第4回目 2月10日

1限～4限 各自研究の中間報告

5限 マーケティング研究とMBA教育についての講義

3. 受講生に望むこと

- ・研究の進捗発表時には、自分自身の発表以外の時間帯も出席するようにしてください。他の人の問題の立て方、研究の進め方を見て、問題点を考えることやディスカッションをすることを通じて、学びを深める努力をしてください。
- ・神戸大学経営学研究科の「レポート・論文作成時における剽窃防止ガイドライン」を確認し、論文作成に務めてください。
- ・修士論文は論文として公開されることが原則です。守秘義務を伴うことは論文に含めないでください。論文自体が公開されることを前提として研究テーマを選定し、公開して成果が社会に還元されることを目指してください。

4. 参考図書

『マーケティング』（池尾恭一・青木幸弘・南 知恵子・井上哲浩著）有斐閣、2010年

『生産財マーケティング』（高嶋克義・南 知恵子著）有斐閣、2006年

『サービス・イノベーションー価値共創と新技術導入ー』（南 知恵子・西岡健一著）有斐閣、2014年

『マーケティング・リサーチ入門』（星野崇宏・上田雅夫著）有斐閣、2018年

『リサーチデザイン 経営知識創造の基本技術』（田村正紀著）白桃書房、2006年

『心理学・社会科学研究のための調査系論文の読み方』（浦上昌則・脇田貴文著）東京書籍、2008年。